

大阪版自治体クラウド (豊能町、河南町、千早赤阪村) の導入について

豊能町	総務部	秘書政策課
河南町	総務部	総務課
千早赤阪村		総務課
大阪府	総務部	IT・業務改革課

- 1 . 3 町村の概要
- 2 . 課題・目的
- 3 . 導入までの経緯
- 4 . 自治体クラウド導入の枠組
- 5 . 対象業務
- 6 . 事業者選定方法
- 7 . 稼働に向けたスケジュール
- 8 . 共通仕様への取組
- 9 . システム外で調整を要した事項
10. クラウド化の効果
11. 今後の展開
12. 大阪府の取組
13. 大阪版自治体クラウド
14. 中間標準レイアウトによる移行
15. 終わりに

1. 3町村の概要

○ 構成団体と人口

豊能町	19,457人
河南町	16,021人
千早赤阪村	5,236人

合計 40,714人



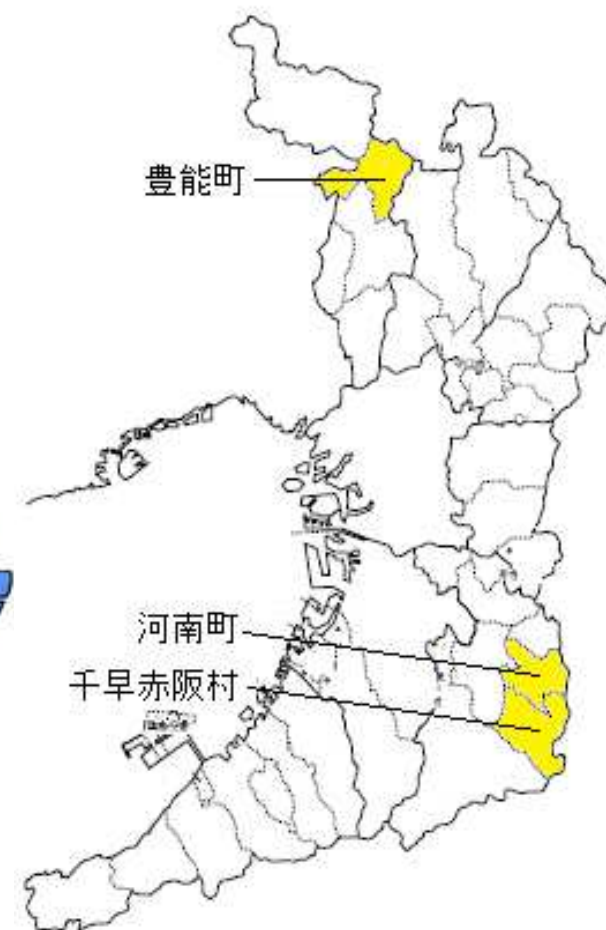
河南町のカナちゃん



©2013豊能町とよのん



千早赤阪村まさしげくん



豊能町の紹介

豊能町は、大阪府の北部にあり、北摂山系に囲まれた自然豊かな町。また、カトリック教会の福者となった「高山右近」の生誕地でも知られています。

高山右近は、戦国時代から江戸初期にかけての武将で、当時の代表的なキリシタン大名。また、茶道にも通じており、千利休の高弟7人（利休7哲）の1人。信仰のために領地財産を捨てた高山右近は、その後、小西行長や前田利家に招かれる等、日本各地を転々としますが、最終的に国外追放となり、フィリピンのマニラで没する。右近を顕彰する像は日本各地やフィリピンに建てられていますが、豊能町にある像は、ただ一つの夫婦像になっています。



豊能町の特産品のヤーコンは南アンデス原産のキク科の植物です。形はさつまいもによく似ていますが、驚くのはそのパワー（成分）。腸内フローラ改善に効果のあるイヌリン（フラクトオリゴ酸）、活性酸素除去作用のあるポリフェノールなどを多く含んでおりスーパーフードとして注目されています。



曲がりくねって、ただいま。

大阪府 豊能町
OSAKA TOYONO TOWN

河南町の紹介

河南町は、金剛・葛城山脈に連なる山地部とその前面に広がる丘陵地、段丘地からなり、町域の3分の1の山地部が金剛生駒紀泉国定公園に指定されています。
また、古くから開けたこの地には、さまざまな古墳、遺跡などの文化財があり、自然と歴史に恵まれた緑豊かな文化の町です。

金山古墳



近つ飛鳥風土記の丘



千早赤阪村の紹介

千早赤阪村は府下最高峰を誇る「金剛山」を有する金剛生駒紀泉国定公園と南北朝の武将「楠木正成」ゆかりの神社や史跡が点在する自然と歴史と文化に抱かれた村です。

下赤阪の棚田の風景



金剛山山頂ライブカメラ



2 . 課題・目的

(1) 現状と課題

河南町は自庁内にサーバを置き、基幹系ベンダーのパッケージをベースに、町で培った事務フローに沿ったカスタマイズを適用したシステムを稼働してきており、法改正やマイナンバー制度の導入などに対し多額の運用経費がかかることが大きな課題となっていた。

また、豊能町・千早赤阪村は既に単独クラウドで基幹系システムを利用してきたが、長年同一ベンダーにより保守・運用を行っていることによるベンダーロックインが課題として挙げられていた。

(2) 事業の目的

情報システムのコスト削減

業務負担の軽減、業務の共同化、標準化

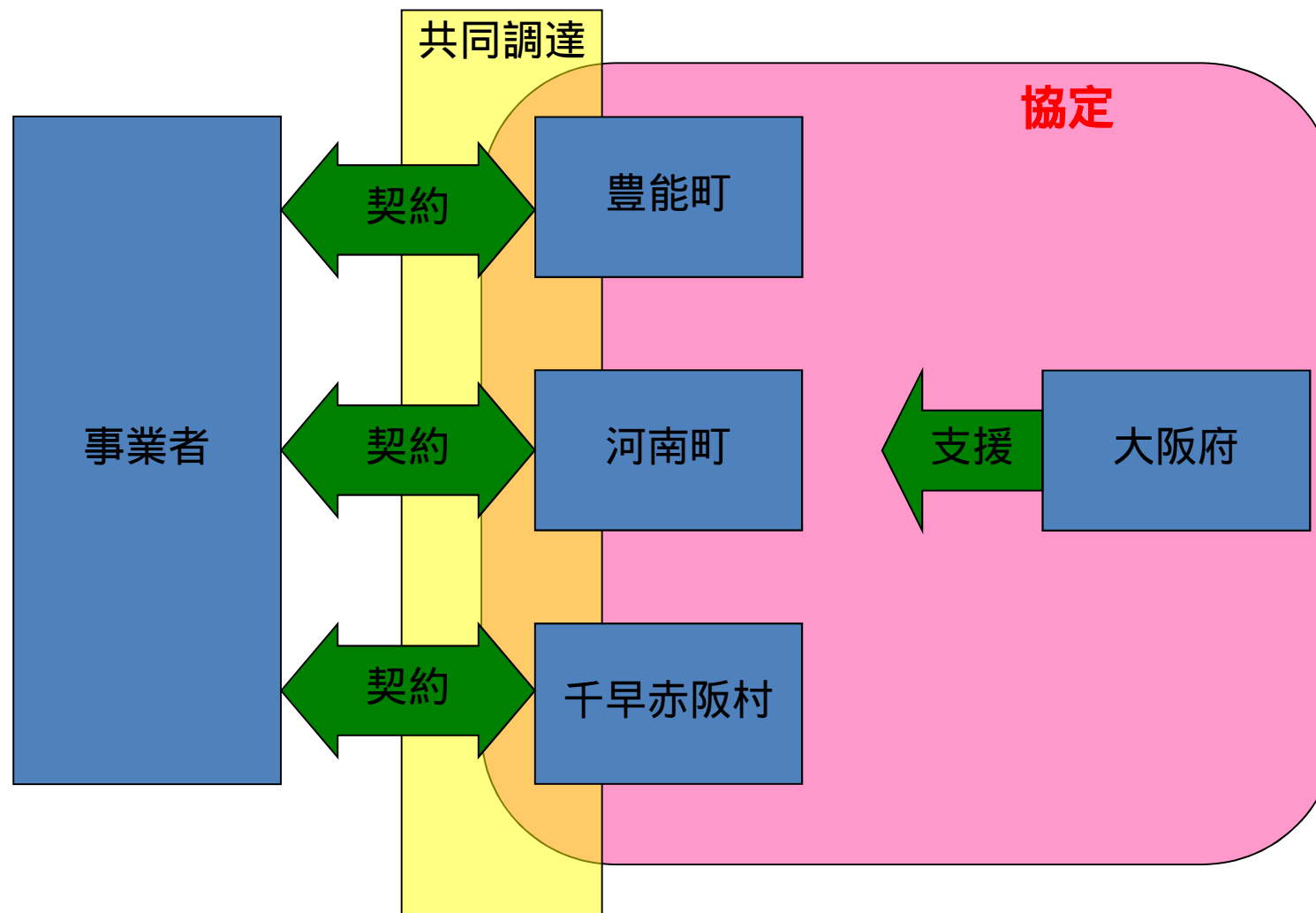
セキュリティの向上、BCPの確保

住民サービスの向上

3 . 導入までの経緯（概要）

平成 2 8 年 6 月 1 0 日	各団体の情報担当課長による会議（課題確認）
6 月 2 1 日	R F I（1 回目）実施 自治体クラウド実現によるコスト削減効果を検証 一定の効果を確認し、3 町村での本格検討開始
9 月 8 日～	共同化の範囲、調達方法、機能仕様等について協議
1 0 月 1 4 日	R F I（2 回目）実施 3 町村の現行システムの機能仕様書で機能仕様を検証 各事業者の標準仕様を確認し、必要なカスタマイズ 機能の絞り込み
1 0 月 2 0 日～	調達仕様（機能、業者選定方法等）及び、協定書作成
1 2 月 2 0 日	協定書締結
1 2 月 2 1 日	調達開始（公告）
1 2 月 2 8 日～	質問回答作成 一次審査（価格、機能仕様） 二次審査（提案書、プレゼンテーション、デモ）
平成 2 9 年 2 月 2 3 日	事業者選定会議 自治体クラウド構築事業者決定
4 月 2 6 日	3 町村自治体クラウド構築キックオフ会議

4 . 自治体クラウド導入の枠組



5 . 対象業務

○ 業務一覧（27業務）

No.	業務システム	No.	業務システム
1	住民記録システム（システム）	15	医療費助成システム
2	住基NWシステム（ゲートウェイ）	16	国民年金システム
3	住基NWシステム（CS）	17	児童手当システム
4	印鑑登録システム	18	福祉医療システム
5	宛名管理システム	19	障がい者福祉システム
6	選挙システム	20	介護保険システム
7	個人住民税システム	21	母子健診システム
8	法人住民税システム	22	健康管理システム
9	軽自動車税システム	23	子ども子育て支援システム
10	固定資産税システム	24	学齢簿システム
11	eLTAX連携システム	25	収納システム
12	滞納管理システム	26	EUCツール
13	国民健康保険システム	27	帳票等アウトソーシング
14	後期高齢者医療システム		

○ オプション（2業務）

No.	河南町追加業務システム（オプション）	No.	千早赤阪村追加業務システム（オプション）
1	高齢者福祉システム	1	下水道受益者負担金システム

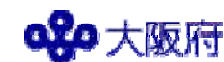
6 . 事業者選定方法

- ・ 1次審査、2次審査に分けて評価を行い、その合計点数により候補者を決める。
- ・ 1次審査
見積書の見積金額と仕様書（共通仕様書、機能仕様書）を既定の計算式により採点し、事務局で上位3社程度に絞る。
- ・ 2次審査
提案内容（提案書＋プレゼンテーション）とデモを行い、最終的な合計点数（評価点数）により採択候補事業者となる順位を決める。
なお、提案内容を審査するにあたっては、各町村の代表者による審査会で採点を行う。
また、デモの評価については、各町村から選定された業務担当者が行い、各町村の業務毎に出された審査票を集計し計算する。
- ・ 評価点数の配点
価格点に1,000点、機能点（仕様書）に300点、提案点（プレゼン含）に500点、デモに200点を配分し、評価点数の満点を2,000点とする。

種類	価格点	機能点	提案点 (プレゼン含)	デモ点	合計
配点	1,000	300	500	200	2,000

6 . 事業者選定方法

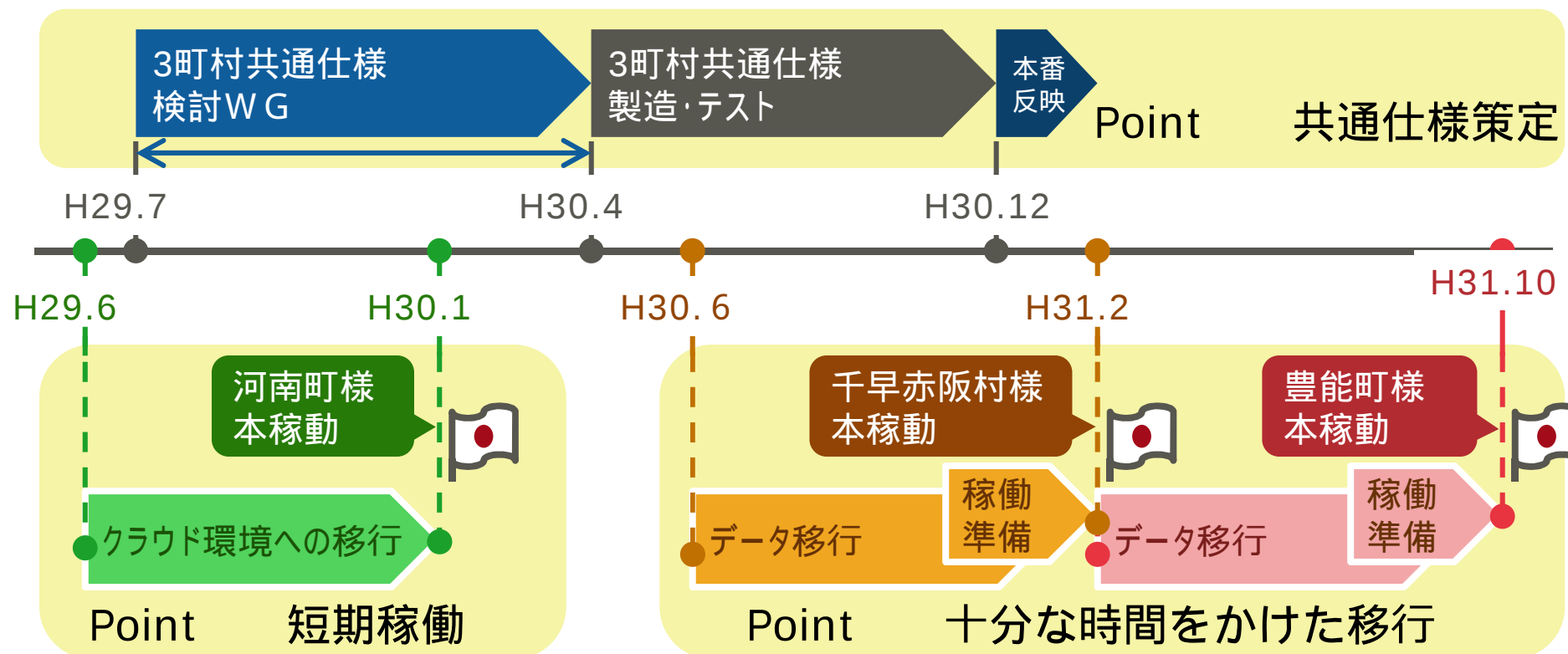
提案書評価表（参考）



項番	大項目	中項目	小項目(例示)	配点
1	提案の概要	本業務の背景と目的	適切に理解し、提案されているか。	10
2	全体仕様	スケジュール	詳細な想定作業スケジュールが示されているか。	60
3		納品物	概要及び納入時期が具体的に示されているか。	
4		業務引継	中間標準レイアウトで安全かつ正常に移行できるか。	
5		文字要件	外字について、業務に支障なく利用できるか。	
6		機密保持、権利義務	それぞれ適切に理解し提案されているか。	
7	プロジェクト管理	体制	適切に人員配置がされ、要員のスキルは十分か。	30
8		開発環境	適切な開発環境が確保されているか。	
9	システム要件	基本要件	規模に応じたシステムの実現性や実現方法が示されているか。	50
10		信頼性・安全性	セキュリティ対策の実現方法等が明確に示されているか。	
11	ハードウェア要件	導入機器	必要十分な機器が提案されているか。	50
12		電源工事、ネットワーク	電源工事・ネットワーク構成が適切、具体的に示されているか。	
13		データセンター要件	条件を十分満たしているか。	
14	ソフトウェア要件	共通機能要件	適切かつ具体的に示されているか。	70
15		対象システム	法改正、バージョンアップの考え方が条件を満たされているか。	
16		新規・追加業務要件について	コンビニ交付等について、適切かつ具体的に示されているか。	
17	移行・研修要件	移行要件	安全かつ適切な移行の実現性が示されているか。	40
18		研修要件	導入及び稼働後の研修について、具体的に示されているか。	
19	システム運用要件	システム運用要件	必要十分な運用体制が示されているか。	90
20		ヘルプデスク	ヘルプデスクについて、具体的に対応が示されているか。	
21		情報セキュリティ管理	適切に理解し具体的な対応が示されているか。	
22		運用報告	適切かつ具体的に示されているか。	
23		SLA	SLAの考え方やサービスレベルについて、満足できるものか。	

7 . 稼働に向けたスケジュール

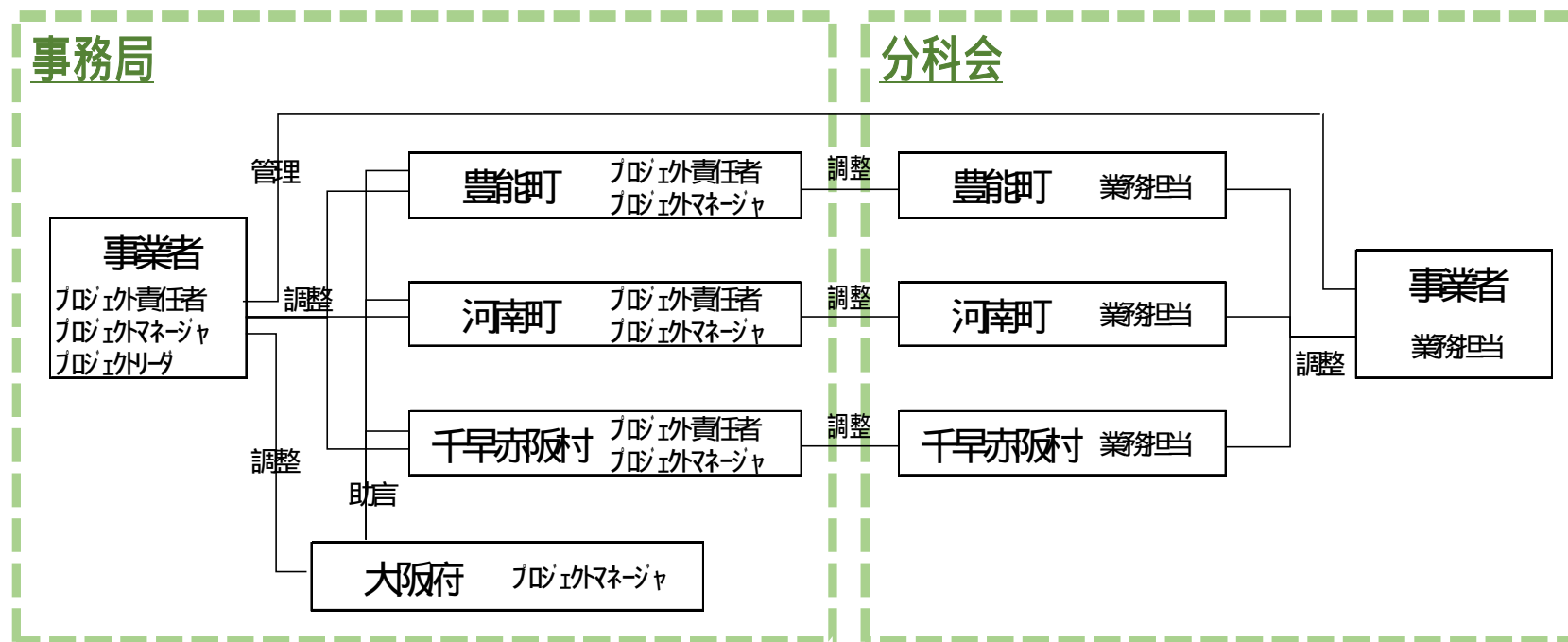
- ・まずは、同じ事業者移行である河南町から安全、確実に稼働。
(一部共通システム導入)
- ・その後、十分な期間をかけ3町村の意見を集約し、共通仕様を検討・策定したうえで、豊能町、千早赤阪村は、3町村共通システムの導入を行う。



8 . 共通仕様への取組

(1) 3 町村の仕様決定への進め方

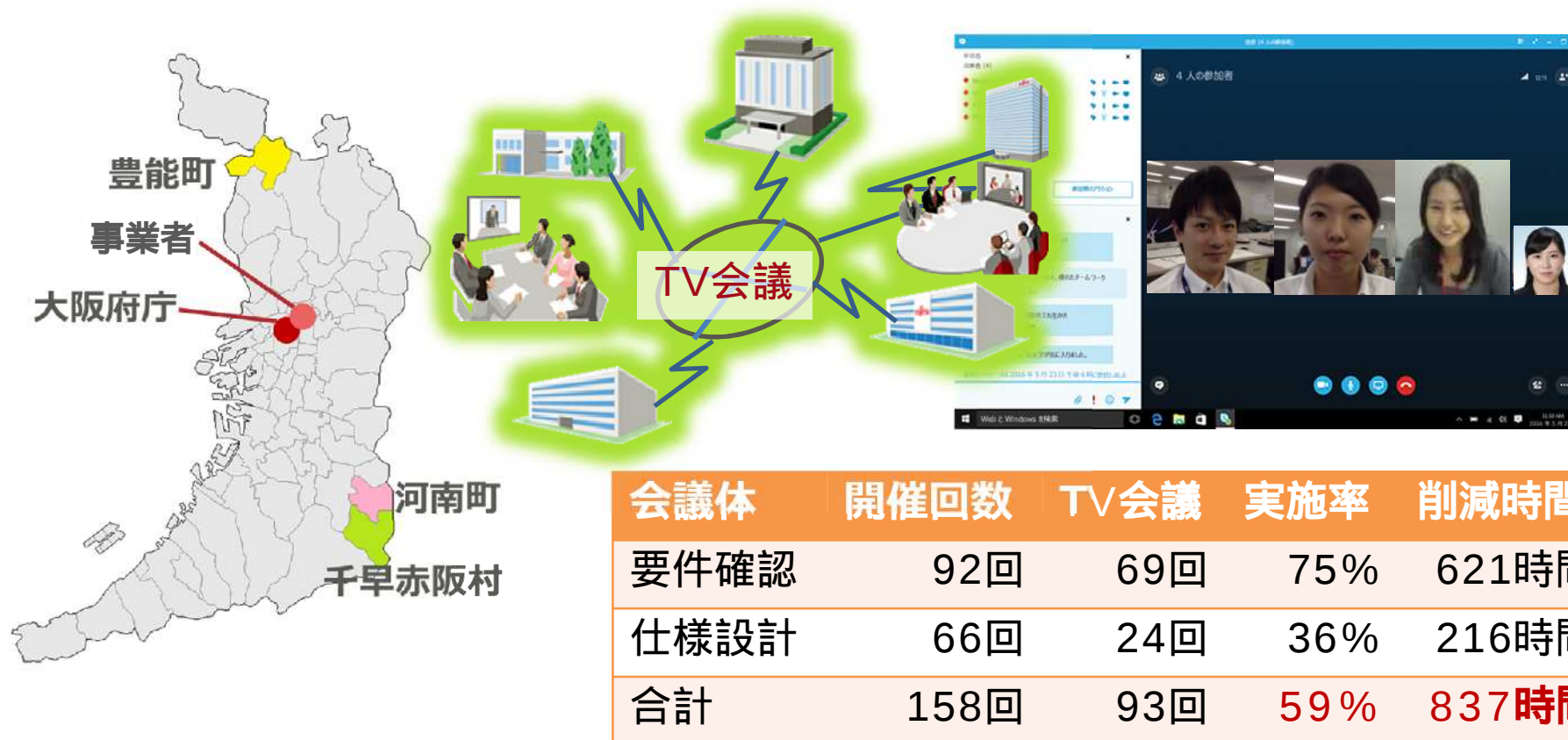
業務ごとに担当者と事業者との分科会を実施し、3町村でカスタマイズ要件等の共通化を行うこととしており、分科会で調整のできない要件については、毎月1回実施される各町村の情報部門と府からなる事務局による要件調整会議で客観的な判定を行い、できるだけカスタマイズを無くすことを目標に調整を行う。



8 . 共通仕様への取組

(2) TV会議を利用した工数削減

TV会議を離れた地域のコミュニケーションツールとして活用し、開発時の工数削減を実現
運用時は、情報共有の場として利用



(片道1.5時間×3団体3名で想定) 14

8 . 共通仕様への取組

【期待される効果】

- ・機能と仕様の共通化により、法改正や新規事業の経費削減
- ・共通仕様化により、用紙の共同調達など、コスト削減が可能
- ・大阪府仕様の標準化により、手作業等の職員負担軽減

- | | |
|-----------|------------------|
| ■ 用紙 | A 4 化や白紙化、税目共通化 |
| ■ 封筒 | 封筒サイズ、宛名窓統一 |
| ■ 宛名シール | 台紙規格統一 |
| ■ 大阪府仕様 | 独自制度、独自報告 |
| ■ インタフェース | コンビニ収納、eLTAX-ASP |

【共通仕様】 納税通知書・納付通知書

宛名欄の位置は統一

住民税当初納税通知書 1 ページ目

住民税当初納税通知書 2 ページ目

POINT

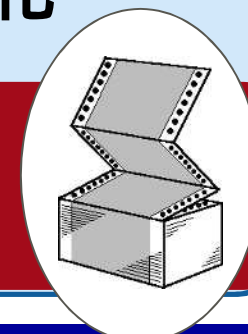
- 用紙サイズA4化
- 汎用コピー用紙化
- 宛名欄の共通化

効果

- 用紙コスト削減
- 専用用紙発注の職員負担なし
- 印字位置合わせの負担軽減（SEも...）
- 封筒共通化

枠線・固定文言・電子公印など、全てシステムで黒色印刷

通常はA4単票、当初など大量印刷はA4連帳を使用

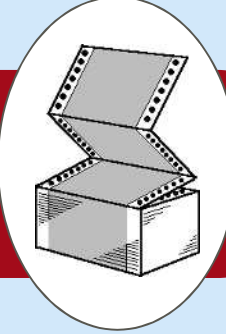


【共通仕様】 特徴納税通知書

シール圧着加工により
隠れる部分

枠線もシステム印字するため、
細かな印字位置合わせが不要

通常はA4単票、
当初など大量印刷
はA4連帳を使用



POINT

- 圧着加工による目隠し
- プレ印字用紙A4化
- 表面の枠線・文言・電子公印のオーバーレイ化

効果

- プライバシー配慮
- カセット給紙、枠線のオーバーレイ化により印字位置合せの負担軽減
- 卓上型の圧着機利用により加工負担軽減

【共通仕様】納付書（税、国保、子ども子育て）

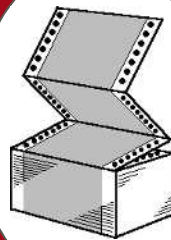
国民健康保険料 大阪府〇〇〇〇〇〇〇〇
納付（納入）済通知書

側面税目
マーキング

送付先宛名エリア
目的に応じ各種明細も印字

切り取る部分
(督促は残す)

大量印刷時は
納付書部分だけ
の連帳を使用



督促状

XXXXXXXX
NNNNNNNN
NNNNNNNN
NNNNNNNN
NNNNNNNN
NNNNNNNN
9999999999 XX-XXXX-XXXXXXX

年 度	NNNNNNNNNNNNNNNN	本税(料)額	XXXXXXXXXXXXXXXX	納付期日	NNNNNNNNNNNN
科 目	NNNNNNNNNN	延 滞 金	XXXXXXXXXXXXXXXX		NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
通知書番号	9999999999 9999	督促手数料	XXXX		NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
期 別	NNNNNNNN	合計納付額	XXXXXXXXXXXXXXXX		

[上] 汎用化の例（下半分）
督促状や、口振不能通知は、
宛名欄余白に文面や明細を編集



POINT

- 税目共通化、更正・督促・口振不能分も共用化
- プレ印字用紙はA4化
- 側面税目マーキング
- 宛名欄の共通化

効果

- プレ印刷用紙のコスト削減
- 用紙発注の負担軽減
- マーキングにより税目確認が容易になり作業効率化
- 封筒共通化

[左] 税目マーキング
側面の印により他税目混入を発見し易く

【共通仕様】受給者証（医療費助成、減額認定証等）

送付先宛名エリア 90度回転印字		業務ごとの プレ印字用紙 三つ折り封入を想定	
〒999-9999 宮城県仙台市青葉区1丁目1番1号 富士通 大阪 営業 課 カスタマーサポート		【大阪府外での受診】 大阪府以外の医療機関等を受診される場合は、医療機関窓口で自己負担金を全額支払い、後日償還払いの申請をしてください。 【医療費助成申請の注意】 国民健康保険・後期高齢者保険以外の方で、高額療養費の給付を受けたとき、または、附加給付を受けたときは、その額を証明するものを添付してください。 附加給付とは、各健康保険組合や共済組合等が規約や定款により独自に定める給付で、内容等もその組合によって異なります。 【助成の内容】 1ヶ月に支払われた一部自己負担額の合計が2,500円を超えたときは、超えた額を助成します。	
子ども医療医療証 公費負担者番号 9 9 9 9 〇 〇 〇 〇 受給者番号 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 対住所 〇〇〇市〇〇1丁目1番1号 氏名 富士通 太郎 生年月日 XX20年1月24日 男 有効期間 XX99年9月99日から XX99年9月99日まで 発行機関名 大阪府〇〇〇 公印 及び印 〇 〇 〇 長 交付年月日 XX99年9月99日 この証は、大阪府以外では使えません。		切り離してご使用ください。 記載内容をご確認いただき、変更等がある場合や、ご不明な点がございましたら、お手数ですが、お問い合わせください。 お問い合わせ先 〇 〇 〇 役 場 〇 〇 〇 課 電話番号: 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇	

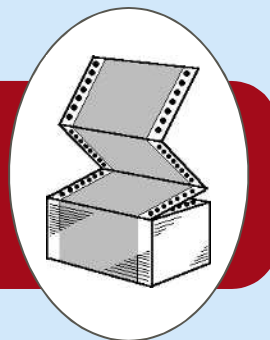
POINT

- プレ印字用紙はA4化
- 宛名欄は90度回転させ
印字位置を共通化

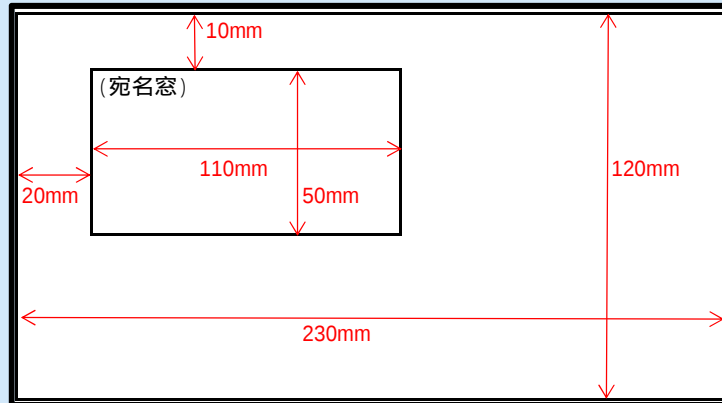
効果

- A4カセット給紙、枠線の
オーバーレイ化により印字
位置合せの負担軽減
- 封筒共通化

通常はA4単票、
当初など大量印刷
はA4連帳を使用



【共通仕様】 封筒、宛名シール

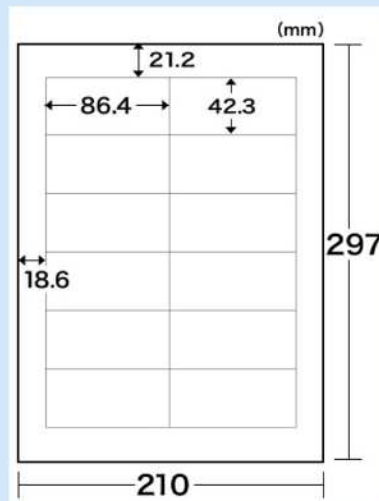


POINT

- 封筒サイズ統一
- 宛名窓の統一

効果

- 封筒コスト削減
- 封筒発注に関する職員負担軽減



POINT

- 用紙、1 頁印字個数の共通化
- 用紙サイズA4化

効果

- 全業務共通化、市販用紙対応により、用紙コスト削減、発注負担軽減

9 . システム外で調整を要した事項

システム外で調整を要した事項

■ 例規類の見直し

→ 通知書等の様式、公印、計算式や判定ルール、PIA

■ 外部機関等との調整

→ 郵便局や金融機関、コンビニ収納代行業者、eLTAX業者

■ そのほかの運用課題の洗い出しと対応

→ 業務分掌(収納など)や、庁内関連部門との連携(会計など)

■ 用紙作成、様式変更申請など

→ 納付書、封筒、証関係、チラシ、マル公申請、コンビニテスト等

事業目的に対する成果

■ 情報システムのコスト削減

- ・ 3 町村合計で約 4 割のコスト削減効果があった。法令改正に伴うシステム改修は原則無償（国の補助金等がある場合はその上限内で別途契約）。

■ 業務負担の軽減、業務の共同化、標準化

- ・ 共通仕様となったことにより、業務運用の標準化が進んだ。また、3 町村の担当者間で交流が活発化し、課題に関して相談して対処できるように。
- ・ 申告支援システムの導入やアウトソーシングの拡大により職員負担が減少。

■ セキュリティの向上、BCPの確保

- ・ 堅牢なデータセンターでの運用により災害に強いシステムとなった。通信回線の障害対策用に自庁内にもサーバを設置。

■ 住民サービスの向上

- ・ コンビニ収納未実施団体が本事業に合わせて開始するなど、住民サービスが向上。

業務負担の軽減

■ 情報担当

- ・ 制度改正対応の原則無償化により、予算要求事務や契約事務が削減。
- ・ 補助金のある制度改正についても、上限額を設けたことにより、ベンダーとの協議が軽減され、予算要求時や議会への説明が明快に。
- ・ マイナンバー制度他、様々な課題に対し、3町村担当で情報共有し、調査回答、補助金申請やベンダーとの調整等共同して対応可能に。また、大阪府からも助言を頂きやすくなった。

■ 業務担当

- ・ 業務担当者間の情報共有が活発になり、共通仕様のため、協力して課題の解決が可能に。単独では気づかない問題点を把握できることも。
- ・ 標準化が進み、他団体の運用方法を取り入れるなど業務改善が進んだ。

■ その他

- ・ 共通仕様のため独自運用ができない不都合もあるが、運用方針の説明が容易となり、また、標準的かつ拡張性のあるシステム設計となる。

11 . 今後の展開

3町村クラウドの更なる発展に向けて

■ 共同システムの更新

千早赤阪村のシステム導入（平成31年2月）を機に、河南町においても共同システムを更新

■ 新団体の受け入れ

府域での単独でシステム運用されている団体の受け入れの検討

■ 災害時のBCP対策

大阪府内でも北と南の地域がシステム開発でより深く交流したことにより災害時のBCPに対する協力を検討

■ 大阪版自治体クラウドへの還元

今回得られた調達から構築にかかるノウハウや改善点は「大阪版自治体クラウド」として、府内の他の団体に還元し大阪府全体の取組として生かす。

12 . 大阪府の取組

• 平成23年度・24年度

- 大阪電子自治体推進協議会で自治体クラウド導入研究ワーキンググループを設置し、中規模以上の団体の基幹系クラウド導入可能性についてまとめた。
H23年度：18団体（21名） 23.11～24.2 計5回開催
H24年度：23団体（26名） 24.05～25.3 計7回開催
- クラウド化は全国的にもあまり進んでいない。共同化には後ろ向きの事業者が多く、団体ごとの事務処理方法の違いが大きいため、多数の市町村による共同化・クラウド化は困難である。部分的な業務分野において、トップダウンにより実施する場合など、一定の条件下でクラウド化や共同化の可能性はある。

• 平成25年度

- 高石市及び忠岡町が、南海トラフ巨大地震などの不測の事態に備え、両団体のトップダウンにより府域初となる自治体クラウドの導入を決定（25年7月31日協定書締結）
H26年3月 忠岡町運用開始（基幹系システム）
H27年10月 高石市運用開始（＼）
- 「電子自治体の取組みを加速するための10の指針」（平成26年3月24日総務省）
番号制度導入に併せた自治体クラウド導入の取組みを加速

12 . 大阪府の取組

• 平成26年度

– マイナンバー制度・自治体クラウド説明会（平成26年7月9日）

【意向確認調査】

クラウド導入団体（単独クラウド含む）	10団体（うち町村5団体）
導入希望団体	12団体
未定もしくは導入しない	21団体

マイナンバー対応が優先だが、導入に向けた検討や準備は必要と考えられる。
各団体の意向にもとづいた検討会を設置し、検討を進めていく

– 平成26年10月 「自治体クラウド導入検討会」の設置について説明会実施

– 平成27年02月 自治体クラウド検討会の設置（3WG、30団体が加入）

1 クラウドサービスの調査（21団体）

自治体クラウドサービス事業者調査（説明会や先進事例の視察等）

2 共同導入に向けた課題検討（11団体）

主に業務標準化についての検討。

3 調達手法の調査・検討（22団体）

共同調達する場合の調達手法等について検討。

12 . 大阪府の取組

• 平成27年度

– 平成27年6月24日 第1回自治体クラウド検討会（合同WG）実施

府域で1つとなる大阪府版自治体クラウドの導入提案。

大阪府版自治体クラウドについて2社から提案

– 平成27年08月～ 市町村訪問開始（平成27年度 19団体訪問）

– 平成27年12月1日 第2回自治体クラウド検討会（合同WG）実施

- 早期導入を検討している主に小規模団体について、円滑に導入を進めるよう支援
- 早急な実現を望まない主に中規模・大規模団体については、クラウドサービスの共同利用や、業務システムごとの共同利用などの検討を進める。
- 団体規模によらずに共通で利用できるコンビニ交付サービスや一括印刷・発送等のシステム化についても検討チームを設置し支援を行う。
- パッケージのカスタマイズ対応となっている大阪府の報告書等様式などについて調査をすすめ、市町村の負担にならないシステム化を検討する。

これらの検討を進めるなかで、勉強会の実施や検討結果の報告会など大阪府としてまとめた活動を継続する。

12 . 大阪府の取組

• 平成28年度

- 平成27年度第2回自治体クラウド検討会におけるアンケートで早期に自治体クラウドを実現したいという2団体（河南町、枚方市）について支援を開始
 - ・ 総務省平成28年度ICT地域マネージャー派遣制度を活用

- 3町村（豊能町・河南町・千早赤阪村）による自治体クラウド導入支援
前述通り

- 平成28年10月25日 第3回自治体クラウド検討会実施
 - 方針1：大阪府における共通仕様の検討を行う
 - 方針2：小グループによる意見交換等を行う
 - 早期導入希望団体の支援を継続し、小グループによる意見交換会の実施による課題の洗い出し、共通仕様の検討に向けた取り組みを進め、市町村の課題解決に資する自治体クラウドの推進と支援、及び共通仕様の作成を行う。

12 . 大阪府の取組

• 平成29年度

- 平成29年9月7日 第4回自治体クラウド検討会実施
地域情報化アドバイザーによる講演（国の動向など）
自治体クラウド勉強会（3町村担当者と導入ベンダーによる報告）
- 3町村（豊能町・河南町・千早赤阪村）による自治体クラウド導入支援
 - 平成29年度自治体クラウド・モデル団体支援事業採択
 - 要件調整会議、仕様調整会議での調整
 - 月次事務局定例会へ出席（自治体クラウド導入の課題確認と共通仕様に向けた調整）
- 太子町による自治体クラウド導入支援
 - H29.5.9 町長面談及び意見交換(3町村自治体クラウドの紹介)
 - H29.9～H30.1 調達仕様調整会議等(計5回)
 - H30.1.19 調達公告
 - H30.3.26 業者(阪南市との共同化を提案)決定
- 大規模団体のIaaSに向けた検討、中規模団体の自治体クラウド導入検討
- 平成30年3月28日 知事表彰受賞（自治体クラウドの取組み推進について）

12 . 大阪府の取組

- **平成30年度**

- **3町村（豊能町・河南町・千早赤阪村）による自治体クラウドの導入支援**
平成31年の千早赤阪村の稼働に向けた支援等を実施
- **太子町・阪南市自治体クラウド導入支援**
 - H30.5.17 打合せ(今後の進め方について)
 - H30.7.2 阪南市・太子町・府の3課長会議（協定内容の調整ほか）
 - H30.7.13 阪南市・太子町・府の3者協定書締結。同日報道発表
- **平成30年10月7日 第5回自治体クラウド検討会実施**
総務省地域情報政策室による講演（国の動向など）
- **その他の検討**
 - **内部情報システムの共同化**
 - **コンビニ交付システムの共同調達**
 - H30.7 コンビニ交付未導入の団体向けに説明会を実施
 - H30.8 RFI実施

12 . 大阪府の取組

自治体クラウド推進のための取組

■ 小グループによる意見交換等の調整

→ 更新時期、団体規模、圏域などで検討グループを作成し、自治体クラウドの導入に向けた意見交換やRFIを実施

■ 大阪府による市町村訪問

→ 府内市町村の首長や情報部門を訪問し、府の取組み状況の説明や、次期システム更改時の自治体クラウド検討について呼びかけや調整を実施

■ 大阪版自治体クラウド（府域共通仕様の作成）

→ 実例を反映した府域の共通仕様を作成し、標準仕様書として市町村に展開

■ 中間標準レイアウトによるデータ移行

→ 大阪版自治体クラウドの一環として、市町村の円滑な調達・移行に寄与

13．大阪版自治体クラウド

共通仕様の作成

- ・ 3 町村の調達の際に作成した仕様書をベースに、その後の仕様検討の結果を反映。太子町の調達においても利用。
- ・ 大阪府の独自要件（府に提出する帳票など）を標準仕様とする
- ・ 各団体で調達時に活用し、情報のフィードバックをもとに内容を毎年更新してまとめる。



- ・ システム調達時における市町村職員の負担軽減
- ・ カスタマイズの抑制によるシステム経費削減
- ・ ベンダーロックインを排除した自治体クラウドの構築

中間標準レイアウトを利用したデータ移行

ベンダーロックイン要因の1つであるデータ移行を安価・安全に行うことを目的に中間標準レイアウトを活用

- 既存システムのデータ抽出
- 新システムへのデータ登録
- 業務終了後のデータ抽出
- コンビニ交付用データ抽出（予定）

14 . 中間標準レイアウトによる移行

中間標準レイアウトでの移行業務は、17業務

No.	移行ファイル名	中間標準 レイアウト 規定項目数 < A >	移行元ベンダにおける抽出設計				移行先ベンダにおける取込設計				移行元→移行先へのデータ項目受渡状況 (左辺: 移出元, 右辺: 移入先)				移行元からみた 現行データ 引渡率 < N >	移行先からみた 必要データ 受領率 < P >
			移行元システム 項目総数 < B >	中間標準 レイアウト 使用項目数 < C >	溢れ項目数 (予備領域) < D >	移行元からみた 中間標準 使用率 < E >	移行先システム 項目総数 < F >	中間標準 レイアウト 使用項目数 < G >	不足項目数 (予備領域) < H >	移行先からみた 中間標準 使用率 < I >	○○ 項目受渡 が成立 < J >	○× 移行先に該 当項目なし < K >	×○ 移行元に該 当項目なし < L >	×× 移行元先とも 未使用 < M >		
1	01_Fit&Gap_住民基本台帳	413	190	157	33	82.6%	234	118	116	50.4%	80	77	38	218	42.1%	34.2%
2	02_Fit&Gap_印鑑登録	57	53	27	26	50.9%	23	15	8	65.2%	15	12	0	30	28.3%	65.2%
3	03_Fit&Gap_住登外管理	266	110	73	37	66.4%	171	81	90	47.4%	38	35	43	150	34.5%	22.2%
4	04_Fit&Gap_就学	94	95	84	11	88.4%	-	-	-	-	-	84	-	10	-	-
5	05_Fit&Gap_選挙人名簿管理	80	118	40	78	33.9%	67	65	2	97.0%	31	9	34	6	26.3%	46.3%
6	06_Fit&Gap_固定資産税	835	721	536	185	74.3%	518	395	123	76.3%	329	207	66	233	45.6%	63.5%
7	07_Fit&Gap_個人住民税	554	842	399	443	47.4%	255	208	47	81.6%	174	225	34	121	20.7%	68.2%
8	08_Fit&Gap_法人住民税.xls	197	198	131	67	66.2%	95	69	26	72.6%	56	75	13	53	28.3%	58.9%
9	09_Fit&Gap_軽自動車税	113	104	91	13	87.5%	51	38	13	74.5%	37	54	1	21	35.6%	72.5%
10	10_Fit&Gap_収滞納管理 ……収納	466	424	424	0	100.0%	385	341	44	88.6%	332	92	9	33	78.3%	86.2%
11	10_Fit&Gap_収滞納管理 ……滞納	420	361	361	0	100.0%	347	268	79	77.2%	240	121	28	31	66.5%	69.2%
12	11_Fit&Gap_国民健康保険	804	361	329	32	91.1%	328	194	134	59.1%	178	151	16	459	38.4%	54.3%
13	12_Fit&Gap_国民年金	141	120	83	37	69.2%	195	134	61	68.7%	77	6	57	1	64.2%	39.5%
14	13_Fit&Gap_介護保険	1451	1891	854	1037	45.2%	671	450	221	67.1%	338	516	112	485	17.9%	50.4%
15	14_Fit&Gap_後期高齢者医療	428	418	389	29	93.1%	490	373	117	76.1%	345	44	28	11	82.5%	70.4%
16	15_Fit&Gap_児童手当	147	234	105	129	44.9%	161	145	16	90.1%	105	0	40	2	44.9%	65.2%
17	16_Fit&Gap_障害者福祉	1974	1422	976	446	68.6%	442	318	124	71.9%	228	748	90	908	16.0%	51.6%
合計		8,440	7,662	5,059	2,603	66.0%	4,433	3,212	1,221	72.5%	2,603	2,456	609	2,772	34.0%	58.7%

$$\begin{aligned} < E > \text{ 移行元使用率} \\ &= < C > \div < B > \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} < I > \text{ 移行先使用率} \\ &= < G > \div < F > \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} < N > \text{ 現行データ引渡率} \\ &= < J > \div < B > \\ < P > \text{ 必要データ受領率} \\ &= < J > \div < F > \end{aligned}$$

14 . 中間標準レイアウトによる移行 大阪府

特に問題となった課題(例)

- ・コンビニ納付書バーコード情報の消込先を管理する発行情報が存在しない（コンビニ収納の消込ができない）
- ・住民票や印鑑証明の証明書発行履歴が存在しない（開示請求に対応できない）
- ・国保県域化で国保集約化システムとの連携情報が存在しない
- ・区分所有関係の情報

対応

- ・既存事業者に追加費用でデータ抽出を依頼
- ・既存事業者に追加費用でデータ抽出を依頼
- ・国保連合会から個別に連携ファイルを受領
- ・千早赤阪村はマンションがなかったため問題なし
今後、豊能町では対策必要

中間標準レイアウトが予備項目領域で補足するものとされており、正確な見積額が得られず、移行時に追加費用(等)が必要となった



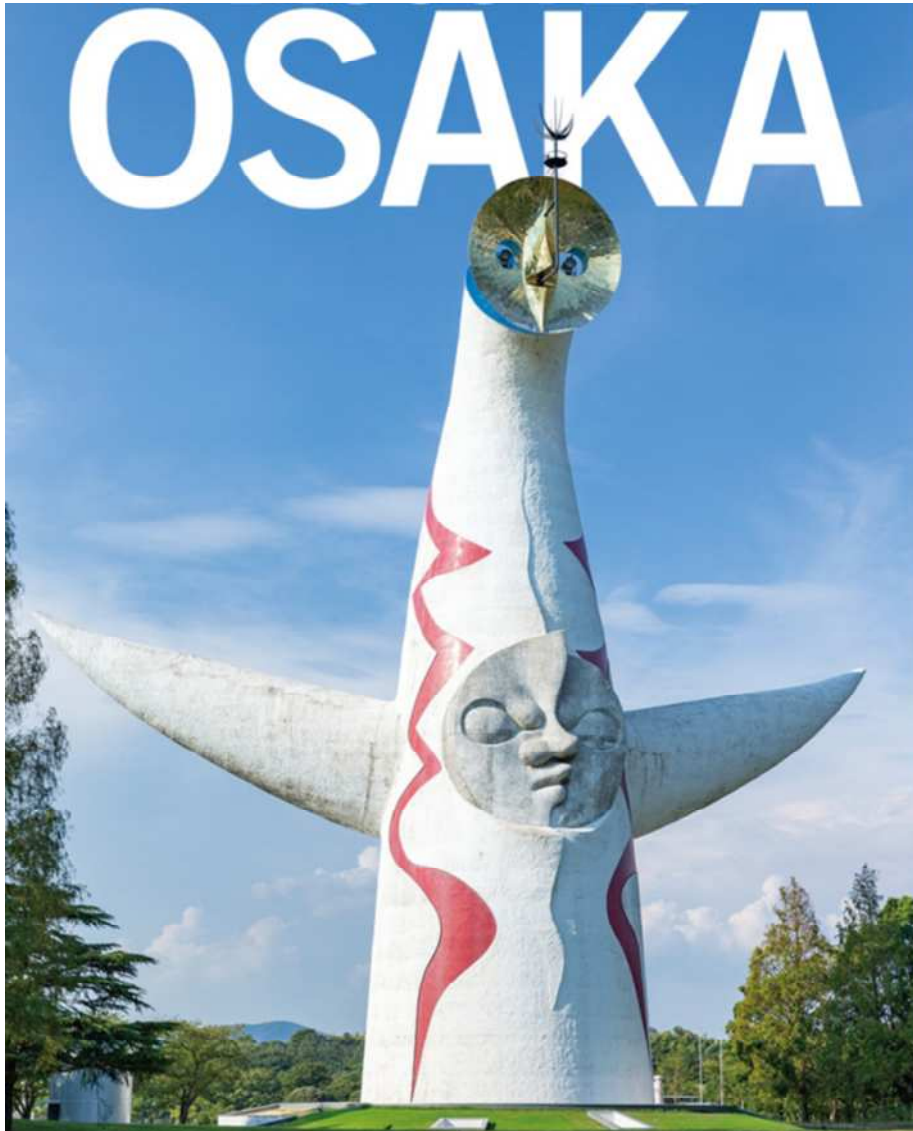
移行による業務継続に必要な項目の網羅を提案

15．終わりに

今後の大阪府の取組について

大阪版自治体クラウド（府域の共通仕様）の取組と共に、市町村の基幹系システムの更改に合わせた自治体クラウド導入を推進する。

15 . 終わりに



ご清聴ありがとうございました

大阪府総務部IT・業務改革課
広域グループ

TEL : 06-6944-6985

mail : ITsuishin-g58@sbox.pref.osaka.lg.jp